

ランチェスター経営原則 戦略☆名人CD



F・ランチェスター

「不況に強い弱者必勝の戦略ルールで経営を総点検すると、競争力が強くなった上に経費も安くなるので業績が向上。」

経営の大事なところのやり方には、競争条件が特別有利な1位の会社だけが使える「**強者の戦略**」と、2位も含め、これ以外の会社が実行しなければならない「**弱者の戦略**」の2種類があり、内容は全くさかさまになっています。

99.5%の会社は弱者の戦略で経営をすべきです。ところが本や講演で説明されるのは、強者の戦略が中心になっています。それに初心を忘れると、中小企業の社長でもつい強者の戦略で経営をしてしまいます。これが業績を悪くする最も大きな原因になるのですから、急ぎ**経営の総点検**をして正しく直さなければなりません。

1. 従業員1人当たり1年に100万円～200万円の損失が出る

本来弱者の戦略で経営すべき会社が強者の戦略で経営をすると、従業員1人当たりの粗利益が1年に「**100万円～200万円**」も少なくなります。

もし従業員が20人いれば、1年間に「2000万円～4000万円」も少なくなります。しかし戦略ミスから出る損失は音がしないばかりか、経営分析でもつかめません。経営を総点検してこれを直さなければ、この損失が毎月出続けます。では、どこを点検すればよいのでしょうか。

2. 総点検する対象は経営の8大要因

それは商品を初めとして営業地域など、経営の8大要因になります。業績全体を見ると「営業地域、客層、営業方法、顧客維持」の広義の営業が「**53%**」を占め、次いで商品は「**27%**」を占めます。

2つで「**80%**」にもなるのですからこれらは急いで総点検し、利益性の原則と弱者の戦略ルールに反しているところが見つかったら、すぐに直します。こうすると正しい仕事を全員ですることになるので、それにつれて業績がよくなります。

しかし総点検をして成果を出すには、ある条件が必要になります。

3. 弱者の戦略ルールのマスターが必要

それはランチェスター法則の応用研究から出てきた、弱者の戦略ルールを正しく理解し、マスターすることになります。

これには従業員100人以下の社長を対象に規模を絞った、良い教材が必要になります。学習効果は、「**教材の質×学習回数**」で決まりますから、良い教材を採用して集中的に学習すると、総点検に必要な戦略実力が身につきます。

4. CD8巻。9時間25分の本格派用

ランチェスター法則と出会って35年、ランチェスター先生の**墓参りを5回**し、現地で手に入れたランチェスター法則の原書を翻訳するとともに、企業調査時代に営業で1位になった経験をもとにまとめたのが、このCD教材です。

戦略ミスから気がつかないうちに出ている「**見えない損失**」を早く止めるために、この戦略教材が必ず役立ちます。

ランチェスター経営(株)

制作 竹田 陽一

TEL 092-535-3311

FAX 092-535-3200

